

中国で「のんびりプレー」 デカイ!! 10コース180ホールでギネスに登録

日本とアジアがチーム戦で対抗するVISAダイナステイ・カップが来年4月15〜17日、中国の深圳で開催される。会場のミッションヒルズGCはピジェイ・シン・コースを始め、設計した世界のトッププロ10人の名前が付いた10コースを持つ世界最大のゴルフリゾート。アジア版ライダー・カップを目指す同大会の前に、ミッションヒルズでゴルフさんまいてみるのも話題づくりになる。

深圳のミッションヒルズGC

10月下旬、現地で行われた発表会に出席して驚かされたのは、ゴルフリゾートとしての規模のばかどかさ。大会に使用されるジャック・ニクラウスのワールドカップ・コース(1999年ワールドカップ開催)以下、ピジェイ・シン、エルス、ノーマン、女子のアメリカの名前の付いたコースの会員権価格は約350万円から10万円であるのに対して、ミッションヒルズの会員権価格は約350万円



10コース、180ホール。ギネスブックにも登録されている世界一大きなゴルフ場が、なぜ中国にという疑問が浮かぶ。普通のサラリーマンの月収が日本円で3万円から10万円であるのに対して、ミッションヒルズの会員権価格は約350万円

円もして、土ロビジター料金(カート利用、キャディ1付き)は2万5000円を超す。深圳は経済特区でお金持ちが多いとはいえず、ゴルフをする人はまだまだ一握りだから、こんなマンモスゴルフ場を造る必要はないはずだからである。そこで、中国通の知人に疑問をぶつけてみたら、こんな答えが返ってきた。中国には、あまり問題にならずに、どんなコースができていくのです。

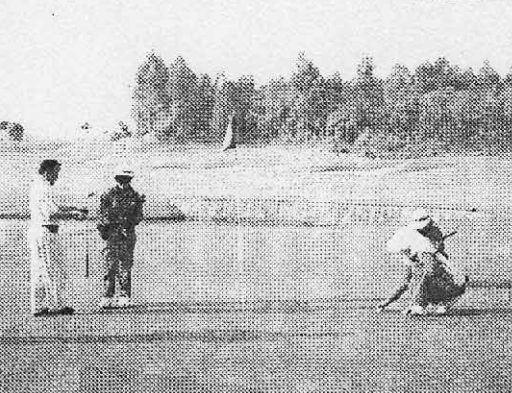
ゴルフ場がマネーゲームに使われているとしたら悲しいが、プレーするには最高の環境だ。設計した世界のトップスターの名前に恥じないコースでゆっくりプレーを楽しめる。クラブハウスに併設するホテルには和、洋、中のレストランが完備。カラオケパーもある。さらに51面のテニスコート、スパやプールやフィットネスジムなどのリゾート施設も充実。成田から香港まで4時間のフライト、そこからゴルフ場まで1時間半の長旅になるが、亜熱帯気候の中でゴルフさんまいができる。(石井 進)

◆VISAダイナステイ・カップ
伝統的ライダー・カップ

4月の第2回大会には、キャプテン青木功の呼びかけに丸山茂樹が参加を表明するなど、日本は最強チームで雪辱を目指す。賞金はでないが、大会出場者(キャプテン推薦を除く)前年の賞金ランク上位10人は、その翌年の国内ツアー出場権を得る。

コース名称	ヤード	パー
ニクラウスのW杯コース	7323	72
ピジェイ・シン・コース	7006	72
ジャンボ尾崎コース	7014	72
エルス・コース	7049	72
ファルド・コース	7084	72
ノーマン・コース	7228	72
レッドベター・コース	7117	72
アニカ・コース	6703	72
デュバル・コース	7000	72
オラサバル・コース	7356	72

全部で10コースあるミッションヒルズGCでは、前後の組をき気にしないでゆっくりプレーできる。キャディーさんは若くて一人一人につく



◆ゴルフツアー
ミッションヒルズへのゴルフツアーをジェット&スポーツが取り扱っている。12月29日出発で1月3日帰国の5泊6日3ラウンドが22万8000円、29日出発で4日帰国の6泊7日4ラウンド(ミッションヒルズでは2R)が25万8000円で、ともに香港ドラゴン航空ビジネスクラス利用。1月5日以降は出発日によって料金は異なるが、4日間2ラウンドのコースが全日空エコノミークラス利用12万8000円から、香港ドラゴン航空ビジネスクラス利用16万5000円から。詳細は同社(03-35455151)へ。